

大津町人づくりまちづくり海外派遣事業水難事故 検証委員会委員名簿

委員種別	委員氏名	所 属 (委員委嘱時の肩書)
弁 護 士	ちば やすひろ 千葉 康博	千葉総合法律事務所 (代表弁護士)
医 師	ばば た か し 馬場 太果志	東熊本第二病院 (院長)
学 識 (社会学習／ 野外活動)	なかがわ やすたか 中川 保敬	熊本大学 (名誉教授)
学 識 (危機管理／ 災害対応)	たけうち ゆ き こ 竹内 裕希子	熊本大学 (工学部 土木建築学科 教授)
学 識 (スポーツ／ 施設管理)	ふじもと ひ ろ し 藤本 比呂志	一般財団法人 熊本市文化スポーツ財団 (事務局長)

大津町人づくりまちづくり海外派遣事業水難事故検証委員会設置要綱

(設置)

第1条 令和6年7月31日(米国現地時間。日本時間は8月1日。)に発生した大津町人づくりまちづくり海外派遣事業の水難事故(以下「本件事故」という。)について、本件事故の原因の考察、本件事故前後の町の対応の調査及び検証を行い、今後の再発防止を図るため「大津町人づくりまちづくり海外派遣事業水難事故検証委員会」(以下「検証委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 検証委員会は、次に掲げる事項について、調査、検証、考察及び提言(以下「調査、検証等」という。)を行う。

- (1) 本件事故の直接的な原因、当日の経過及び本件事故の発生状況
 - (2) 本件事故直後の救急対応の状況
 - (3) 前2号で明らかになった事実を踏まえ、本件事故の原因について広く検証及び考察すること
 - (4) 第1号及び第2号で明らかになった事実についての大津町の対応
 - (5) 前各号に掲げる事項のほか、検証委員会が必要と認める事項
- 2 検証委員会は、前項によって明らかになった事実、検証及び考察結果をまとめて報告し、再発防止に関する提言を行う。

(委員会の構成等)

第3条 検証委員会は、学識経験者、弁護士、医師等、大津町が当該専門の事項に関して十分な知識と経験を有すると認め、かつ、本件事故の関係者と直接の人間関係又は特別の利害関係を有しない者から町長が委嘱し、5人以内の委員により構成する。

2 委員の委嘱期間は、検証委員会が第9条第1項に規定する報告書を提出した後、本件事故に遭った児童生徒(以下「本件生徒」という。)の保護者に報告書の内容を報告する日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 検証委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選とする。
- 3 委員長は会務を総理し、検証委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長が委員から指名する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 検証委員会は、委員長が招集する。ただし、初回の会議は町長が招集する。

- 2 検証委員会の議長は、委員長がこれに当たる。
- 3 検証委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことはできない。ただし、オンラインでの参加は出席とみなすものとする。
- 4 検証委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 委員は、検証委員会に出席できない場合には、事前に他の委員の了承を得て、代理の者を出席させることができる。

6 前3項の規定にかかわらず、緊急性その他委員長が必要と認めた場合には書面で協議、議決を行うことができる。

7 検証委員会の会議の公開又は非公開は、委員会において決するものとする。

(調査等)

第6条 検証委員会において、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

2 検証委員会は、本件生徒の保護者から意見表明の申出があった場合は、意見を聴取するものとする。

3 町は、調査、検証等の経過を本件生徒の保護者に報告するものとし、報告の時期、方法等については、町の主体的な判断によるものとする。

(調査員)

第7条 検証委員会は、所掌事務を遂行するために必要な調査を行う者(以下「調査員」という。)を置くことができる。

2 調査員は、本件事故の関係者と直接の人間関係又は特別の利害関係を有しない者のうちから、全委員の了承を得て、委員長が町に推薦し、町長が委嘱する。

3 調査員は、検証委員会の調査を補助し、業務を終えたときは書面により速やかに調査結果を検証委員会に報告する。

4 調査員は、委嘱の日から調査結果を検証委員会に報告するときまで、その地位を有する。

(議事録)

第8条 検証委員会は会議を開催したときは、議事録を作成するものとする。

(報告及び公表)

第9条 検証委員会は、調査、検証等の結果を報告書にまとめ町長に提出するものとする。

2 町は、前項の報告書の内容について、速やかに本件生徒の保護者に報告する。

3 町は、第1項の報告書を速やかに公表する。ただし、公表に当たっては法令等の規定に基づき、必要な配慮をしなければならない。

4 町は、第1項の報告書を踏まえ必要な措置を講じるものとする。

(守秘義務)

第10条 委員及び調査員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。委員及び調査員を退任した後も同様とする。

(事務局)

第11条 検証委員会の事務局は、大津町総務部総合政策課に置く。

附則

この要綱は、告示の日から施行する。

①事業の目的等

当該事業の名称 「大津町人づくりまちづくり海外派遣事業」

国際的視野を持つまちづくりのリーダー育成を目的に、町内に住所を有する中高生等をアメリカの姉妹都市に海外派遣し、ホームステイを基本とする現地体験を通じて海外での生活習慣や文化等を学んで国際感覚を磨き、町の国際交流や国際化に寄与する。

国際感覚豊かな人材を育成し、大津町における国際交流と国際化を更に推進することを目的とする。(令和6年度アメリカホームステイプログラム実施要領より抜粋)

②当該事業のこれまでの歴史

年表	
平成2年～4年	人材育成を目的に熊日アカデミックホームステイ事業によってホームステイが実施される。
平成4年	米国ネブラスカ州アラパホ町出身の ALT であるブレント・ウォルゼン氏が、町単独のホームステイプログラムに着手する。
平成5年7月	ブレント氏の故郷アラパホ町へのホームステイプログラムが実施される。 (ブレント氏及び中高生 15 人)
平成6年2月	大津町振興総合計画策定に伴う子ども議会が開催され、アラパホ町へのホームステイ参加者による事業継続の訴えが提起される。その後、ホームステイプログラムを継続するため、教育交流を中心とした姉妹都市構想が立ち上がる。
平成6年7月	当時の大津町長である荒木町長が、都市交流の会議にヘイスティングス市へ渡米。
平成7年1月	ヘイスティングス市民訪問団が来町。ホームステイプログラムが町単独事業として継続することが決定。
平成7年7月	町長、議長、副議長、教育長、町国際交流協会長ら 17 名の姉妹都市提携の調印団が渡米。大津町、ヘイスティングス市、アラパホ町の三市町長により姉妹都市提携の調印が行われる。

■ヘイスティングズ・アラパホ姉妹都市関係渡航実績

期	年度	西暦	姉妹都市締結から	中高生ホームステイプログラム							派遣数計
				引率 町職員	引率 JET ・CIR	青年 リーダー	通 訳	随行者計	中高生	社会人 教員	
1	平成 5 年度	1993	-2	●● ●●	●● ●●		●● ●●	3	15		18
2	平成 6 年度	1994	-1	●● ●●	●● ●●		●● ●●	3	17		20
3	平成 7 年度	1995	0	●● ●●	●● ●●	●● ●●	●● ●●	4	18	10	32
4	平成 8 年度	1996	1	●● ●●	●● ●●	●● ●●		3	11	2	16
5	平成 9 年度	1997	2	●● ●●	●● ●●	●● ●●		3	11		14
6	平成 10 年度	1998	3	●● ●●	●● ●●	●● ●●		3	13		16
7	平成 11 年度	1999	4	●● ●●	●● ●●	●● ●●		3	14		17
8	平成 12 年度	2000	5	●● ●●		●● ●●	●● ●●	3	13		16
9	平成 13 年度	2001	6	●● ●●		●● ●●	●● ●●	3	13		16
10	平成 14 年度	2002	7	●● ●●		●● ●●	●● ●●	3	13		16
11	平成 15 年度	2003	8	●● ●●			●● ●●	2	4		6
12	平成 16 年度	2004	9	●● ●●		●● ●●	●● ●● ●● ●●	4	4		8
13	平成 17 年度	2005	10	●● ●●			●● ●● ●● ●●	3	8		11
14	平成 18 年度	2006	11	●● ●●		●● ●● ●● ●●	●● ●●	4	11		15
15	平成 19 年度	2007	12	●● ●●		●● ●●	●● ●●	3	11		14
16	平成 20 年度	2008	13	●● ●●			●● ●●	2	8	1	11
17	平成 21 年度	2009	14	※新型インフルエンザの影響で派遣中止							
18	平成 22 年度	2010	15	●● ●●			●● ●●	2	7		9
19	平成 23 年度	2011	16	●● ●●			●● ●●	2	8		10
20	平成 24 年度	2012	17	●● ●●			●● ●●	2	6		8
21	平成 25 年度	2013	18	●● ●●	●● ●●			2	9		11
22	平成 26 年度	2014	19	※来日と姉妹都市 20 周年の準備のため派遣中止要請							
23	平成 27 年度	2015	20	●● ●●	●● ●●		(●●●●、 訪問団公式)	2	12		14
24	平成 28 年度	2016	21	※アメリカ側からの隔年での交流希望の為、派遣無し							
25	平成 29 年度	2017	22	●● ●●	●● ●●			2	14		16
26	平成 30 年度	2018	23	※市民訪問団来町のため派遣無し							
27	平成 31 年度	2019	24	●● ●●	●● ●●			2	13		
28	令和 2 年度	2020	25	※新型コロナウイルスの影響により姉妹都市交流中断							
29	令和 3 年度	2021	26								
30	令和 4 年度	2022	27								
31	令和 5 年度	2023	28	※市民訪問団来町のため派遣無し							
32	令和 6 年度	2024	29	●● ●●	●● ●●			2	10		12
合計								65	263	13	326

※令和6年度は、中高生10人に町職員1名と国際交流員(CIR)1名が随行し、総勢12人を派遣。(学生リーダーも募集したが応募無。)別に大津町国際交流協会からも1人自費参加し帯同したため、主に13人での現地活動。

□プログラムにおけるウォーターパークの有無と参加中高生の内訳

年度	西暦	米 訪町	町 派遣	ウォーター パーク有無	派遣人数
平成7年度	1995	○	○	不明	中高18人、教師10人
平成8年度	1996	○	○	不明	中高11人、青年2人
平成9年度	1997		○	※カヌーで 川下り	中学4人、高校7人、青年1人、随員2人
平成10年度	1998		○	※水上スキー ・カヌー	中高生など16人
平成11年度	1999		○	不明	中学2人、高校12人、青年1人
平成12年度	2000		○	○	中学6人、高校6人、青年1人、不明1人
平成13年度	2001		○	不明	中学2人、高校11人
平成14年度	2002		○	不明	中学4人、高校9人、青年1人
平成15年度	2003		○	不明	中学2人、高校2人
平成16年度	2004		○	不明	中学2人、高校2人、青年3人、随員1人
平成17年度	2005		○	※個別に プール利用	中学5人、高校3人
平成18年度	2006		○	○	中学7人、高校4人
平成19年度	2007		○	○	中学7人、高校4人、青年1人、通訳1人、随員1人
平成20年度	2008		○	○	中学7人、高校1人、農業研修生1人、通訳1人、随員1人
平成21年度	2009	新型インフルエンザの流行により派遣中止			
平成22年度	2010		○	○	中学2人、高校5人、通訳1人、随員1人
平成23年度	2011		○	○	中学1人、高校7人、通訳1人、随員1人
平成24年度	2012		○	○	中学1人、高校5人
平成25年度	2013		○	○	中学1人、高校8人、随員2人
平成26年度	2014	○	来日と姉妹都市20周年の準備のため派遣中止要請		
平成27年度	2015		○	○	※姉妹都市提携20周年 中学4人、高校8人、随員2人、公式訪問団5人、 町国際交流協会13人、日本庭園グループ3人
平成28年度	2016	○	アメリカ側からの隔年での交流希望の為、派遣無し		
平成29年度	2017		○	○	中学2人、高校12人、随員2人
平成30年度	2018	○	市民訪問団来町のため派遣無し		
令和元年度	2019		○	○	中学5人、高校8人、随員2人
令和2年度	2020	コロナ禍により実施なし			
令和3年度	2021				
令和4年度	2022				
令和5年度	2023	○	市民訪問団来町のため派遣無し		
令和6年度	2024		○	○	中学8人、高校2人、随員2人

③今回の事業スケジュール

◆海外派遣前までの事前スケジュール

日付	概要	
4月1日	募集期間	広報おおづ4月号にて参加者の募集開始
4月2日		随員職員の募集開始
4月11日		ホームステイプログラムに関する事前ガイダンス開催
4月22日		参加者及び随員職員の募集締め切り
4月25日	選考期間	応募者へ選考会開催を文書にて通知
		随員職員決定
5月12日		選考会開催
5月13日		応募者に文書にて合否通知
5月28日	ホームステイ プログラム 準備期間	第1回参加者説明会開催
6月7日		第1回学習会
6月15日		第2回学習会
6月22日		第3回学習会・第2回参加者説明会
6月29日		第4回学習会
7月5日		第5回学習会
7月20日		第6回学習会
7月26日	ホームステイ プログラム	出発式・空港見送り

帰国後の報告会開催と、報告会準備のための事後学習会も予定

④現地滞在スケジュール(当初予定)

2024 人づくりまちづくり海外派遣事業滞在スケジュール 2024年7月26日(金) ~ 8月6日(火)		
7月 26日 2024 - Day 1		
時間	内容	現地随行
11:15	セントラル・ネブラスカ・リージョナル空港到着	
	ホテル; Candlewood Suites 住所; 859 Allen Drive, Grand Island, NE, 68903	
1日目終了 - 7月 26日		
7月 27日 2024 - Day 2		
9:00-9:45	ホテルで朝ごはん	
9:45-10:00	車に荷物に入れる	
10:30	ヘイスティングズ大学に到着	
11:00	ホームステイプログラムの歓迎会 (ホストファミリーへ挨拶)	
12:30	ホーストファミリーとの自由行動	
2日目終了 - 7月 27日		
7月 28日 2024 - Day 3		
	ホーストファミリーとの自由行動	
18:35	野球観戦 (アマチュアリーグ) (ヘイスティングズ Sodbusters)	
3日目終了 - 7月 28日		
7月 29日 2024 - Day 4		
8:30	ヘイスティングズ大学のKIEWITの建物に集合	
9:00-10:30	ヘイスティングズ市の歴史散歩ツアー (ダウンタウンエリア)	
10:30-11:00	図書館でヘイスティングズ市長と面会	
11:00-11:30	ヘイスティングズ図書館ツアー	
11:45	昼ご飯 (Big Dallys Deli) サンドイッチ	
14:30-15:45	Julie' s Expressions ショップで 工芸品やジュエリーを作ろう	
14:30-15:45	ヘイスティングズ市 (ダウンタウンエリア) フリータイム	
16:00	ヘイスティングズ大学のKIEWIT建物で 解散	
17:30-19:00	ヘイスティングズ中学校のガーデンク ラブの庭の手入れのお手伝い	
4日目終了 - 7月 29日		

7月30日 2024 - Day 5		
8:00	ヘイスティングズ大学のKIEWITの建物に集合	
9:30	リンカーン市に到着	
9:30-10:00	Sunken Gardens (サンケンガーデン)	
10:00-12:00	リンカーン州動物園	
12:30-1:30	昼ご飯 (UNL大学) 大学学生組合	
14:00-15:00	ネブラスカ州の州会議事堂	
15:30-17:30	サウスポイントショッピング (屋外ショッピングセンター)	
17:30-18:30	ディナー: フェイマス デイブズ バーベキュー	
20:00	ヘイスティングズ大学のKIEWIT建物で解散	
5日目終了 - 7月30日		
7月31日 2024 - Day 6		
8:30	ヘイスティングズ大学のKIEWITの建物に集合	
8:30-9:30	ヘイスティングズ大学のツアー	
9:30-10:30	ヘイスティングズ大学のアートセンター (JDAC) ツアー (ジェロムさんと一緒に)	
10:45-11:45	ヘイスティングズ高校ツアー	
12:00-13:00	昼ご飯 (RUNZA)	
13:00-16:30	ヘイスティングズ市のウォーターパーク	
16:30	ヘイスティングズ大学のKIEWITへ出発	
17:00	ヘイスティングズ大学のKIEWIT建物で解散	
6日目終了 - 7月31日		

水難事故
発生

8月1日 2024 - Day 7		
8:30	ヘイスティングズ大学のKIEWITの建物に集合	
9:00-11:00	農業の体験	
11:30-12:00	昼ご飯; Prairie Loftで	
12:15	Prairie Loft ツアーと体験 (野外学習ができる施設)	
14:00-15:00	オープンテーブルボランティアコミュニティサービス活動 (サンドイッチ作り)	
15:00-16:30	Patcha Soap ツアー (石鹸会社)	
16:30-17:00	ヘイスティングズ大学のKIEWIT建物で解散	
7日目終了 - 8月1日		
8月2日 2024 - Day 8		
8:30	ヘイスティングズ大学のKIEWITの建物に集合	
9:30-10:30	ネブラスカ州立フェアビルツアー	
11:30	昼ご飯; アメリカのサックランチ	
12:00-15:00	シュトゥール博物館ツアー	
15:00-16:30	買い物時間	
16:30	ヘイスティングズ大学のKIEWITへ出発	
17:00	ヘイスティングズ大学のKIEWIT建物で解散	
8日目終了 - 8月2日		
8月3日 2024 - Day 9		
	ホーストファミリーとの自由行動	
17:00-20:00	アイゲンベルグ農場での送別会。午後6時までに料理を持ってくる。 (ポットラックパーティ)	
9日目終了 - 8月3日		
8月4日 2024 - Day 10		
	ホーストファミリーとの自由行動	
10日目終了 - 8月4日		
8月5日 2024 - Day 11		
3:30	ヘイスティングズ大学のKIEWITの建物に集合	
4:00	ヘイスティングズ大学から空港へ出発	
6:00	飛行機搭乗	

令和 6 年度アメリカホームステイプログラム実施要領

1. 目的

国際感覚豊かな人材を育成し、大津町における国際交流と国際化を更に推進することを目的とする。

2. 実施期間

令和6年7月下旬から8月上旬 《7 月 26 日(金)～8 月 6 日(火)を予定》

3. 派遣先

アメリカ合衆国ネブラスカ州ヘイスティングズ市(姉妹都市)

4. 派遣人員

中学生・高校生 9人程度

大学生等 1人程度

(選考の結果により派遣人員に変更の可能性があります)

5. プログラムの内容

ホストファミリー宅でのホームステイ体験、ヘイスティングズ大学訪問、各種交流等

6. 町からの助成

◇町の予算の範囲内で、旅費の半額程度を助成

※ 正確な旅費及び助成額は、旅行業者が決定した後にお知らせします。また、正確な旅費及び助成額が決定した後に、原油市場の動向を背景とする旅費の変更が生じる場合も予想されますので、予めご了承ください。

※ パスポート取得費用、旅行保険料、食費、超過航空手荷物料金、自宅から集合場所までの旅費、解散場所から自宅までの旅費、その他の個人的経費は助成の対象となりません。

7. 申込資格

◇申込みにあたっては、次の全ての要件を満たすこと。ただし、同一世帯からの申込みは1名しか認めない。

(1)大津町に住所がある者

(2)中学校又は高等学校、大学等に在籍している者

(3)このプログラムに参加したことがない者

(4)事前研修(6月上旬頃から毎週1回程度)及び事後研修に参加することができる者

(5)海外旅行に支障がない健康状態である者

(6)協調性があり規律ある団体行動ができる者

(7)保護者の同意がある者

(8)プログラム終了後、積極的に国際交流をはじめとするまちづくり活動ができる者

8. 応募(問い合わせ先)

◇書類の配布 申込書及び同意書は、土曜日及び日曜日並びに祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分の間、大津町役場総合政策課で配布します。

また、町ホームページ上でもダウンロードが出来ます。

◇提出書類 ①申込書

②同意書

③作文(400字詰め原稿用紙2枚程度に、参加を希望した理由、目的等を明確に手書きにより書くこと)

◇提出先 大津町役場 総合政策課

〒869-1292 菊池郡大津町大字大津1233

TEL096-293-3118(直通)

FAX096-293-4836

◇応募締切 令和6年4月22日(月)午後5時まで

◇応募方法 応募締切日までに持参または郵送

9. 選考方法

書類選考の上、申込者が定員を超える場合は、選考により派遣する方を決定します。

10. 派遣決定後の参加辞退

派遣が決定した後に、参加者の都合により参加申込を取り消す場合は、旅費(助成金を含んだ全体額)に対してキャンセル料が発生するため、自己負担金額を上回るキャンセル料が発生することがありますが、これは全て参加申込者負担にて対応していただきます。予めご了承ください。

11. 事前及び事後研修

◇事前研修 6月上旬頃から、毎週1回(7回程度)事前研修を行ないます

◇事後研修 帰国後、報告会を開催するとともに、その準備のための事後研修を数回開催します。

※授業や学校行事等のやむを得ない場合を除き、原則全回参加が必須です。

12. 事業の中止と変更

国際情勢、災害、荒天等を理由として、事業の全部又は一部を中止又は変更することがあります。

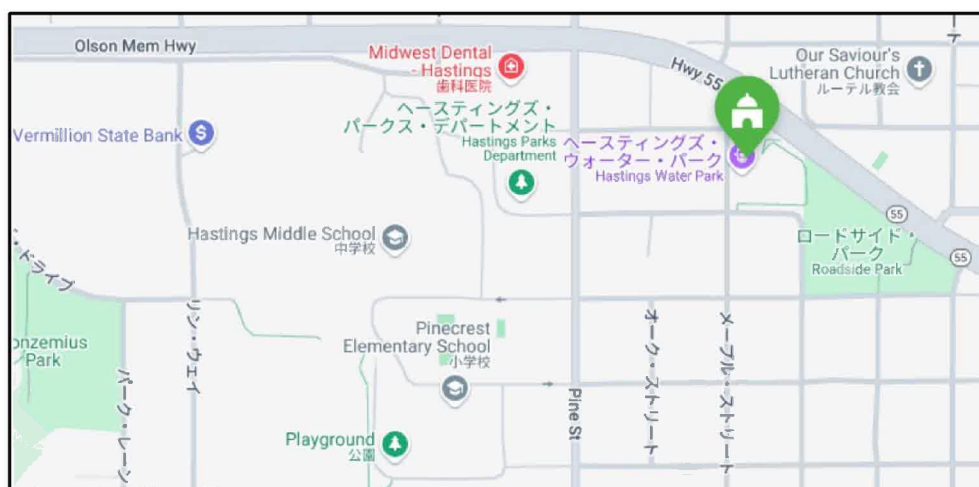
参考資料4 当該プール施設の位置・概要

参考資料4

① 施設の概要

施設名:ヘイスティングス アクアコート ウォーター パーク

Hastings Aquacourt Water Park



3種のウォータースライダー(滑り台)のほか、飛び込み台や流れるプールなどもあるレジャープール施設。

事故当日は120～150人ほどの来場者でにぎわっていた模様と、警察による推察あり。

遊泳エリアの水深は、ロープの仕切りに近づくにつれて約0.7メートル(2.5フィート)から約1メートル(3.5フィート)と徐々に深くなります。ロープの仕切りの反対側では、プール水深は急激に深くなり、約4メートル(13フィート)に及ぶ急な傾斜になっています。



② 事故の概要

被害生徒 ●● ●●さん ** 歳(中学生) 女性
※氏名・年齢・学校名・学年については非公表
身長 154cm

大津町が主催する姉妹都市(米国ヘイスティングズ市)との国際交流事業『人づくりまちづくり海外派遣事業』に係る令和6年度実施において、水難死亡事故が発生。

派遣実施期間:7月26日(金)～8月6日(火)の12日間

中高生10人・随行職員1人・通訳1人(CIR)の総勢12人が参加
(別到大津町国際交流協会からも1人自費参加で帯同)

■事故発生経過

事故発生日 : 滞在スケジュール6日目(現地7月31日)

事故当日の午後、市内のウォーターパークで現地のレジャー施設を体験するとともに高校生を含む現地の人たちとコミュニケーションをとって交流を深める予定だった。

(現地時間)	日本との時差 -14 時間	※以下、一報が入ってからの概要整理
13:15頃	昼食終了	
13:20頃	ウォーターパーク到着	水着等に着替え
13:40頃	貴重品を随行者に預けてプール入水	
	男子・女子各グループに分かれて行動	
13:45～13:55頃	女子中学生の一人がおぼれ、現地のライフガードによって救出	
	救急救命措置実施	水難事故発生
14:00頃	現地から大津町に一報が入る(日本時間 8 月 1 日 4:00 過ぎ)	
14:10頃	救急車が到着し、搬送開始 (日本時間 4:21 に搬送の報告)	
14:30頃	ヘイスティングズ市の病院(メアリーランニング病院)に到着	
	Mary Lanning Healthcare	
	715 N St Joseph Ave, Hastings, NE 68901	
	肺に食事と水が入り、自発呼吸ができず、人工呼吸器を装着	
	肺の排水処置や検査のため、オマハ市の小児病院に移送が決定	
	(オマハ市までの天候が急変しドクターヘリを空路で急行させる	
	ことが困難となったため救急車を要請)	
	地元警察と市が事故の発生を公表(危篤状態と報じる)	
18:20頃	オマハ市から救急車がヘイスティングズ市の病院到着	移送開始
21:27頃	オマハ市の病院(チルドレンズネブラスカ)到着	
	集中治療室にて処置	(日本時間 11:27頃)
	Children's Nebraska PICU - Hospital unit	
	8200 Dodge Street Omaha Nebraska 68114	

(日本時間)

8月1日(木)

午後1時

保護者説明会(1回目)

事故発生報告とホームステイプログラムの中断について協議

午後4時30分

町議会に事故発生報告(議会全員協議会)

午後5時30分

水難事故の発生をプレスリリース(町長コメントも深夜0時に発表)

8月2日(金)

午前7時35分

被害生徒のご家族と町職員随行 アメリカに向け出発

午前11時

保護者説明会(2回目)

ホームステイプログラムの中断を決定、保護者了承

ヘイスティングズ市側関係者や参加中高生たちと最終調整

8月3日(土)

午前0時30分

帰国前の中高生たちに町側からオンラインで経緯説明

午前5時17分

米国滞在中の中高生と随行職員 帰国に向けて出発

※生徒1名と町通訳、国際交流協会スタッフの計3人は後発で2日後出発

午前7時15分

被害生徒のご家族と町職員随行がオマハ市の病院に到着

8月4日(日)

午後2時38分

被害生徒の死亡宣告(現地時間 午前0時38分)

午後8時40分

米国から中高生と随行職員が帰国、熊本空港到着

※後発グループ3人は2日後(8月6日)の同時刻に帰国(当初行程まま)

8月5日(月)

午前11時

保護者説明会(3回目)

被害生徒の死亡報告

午後3時

記者会見

8月9日(金)

午前11時

町議会に事故経過報告(議会全員協議会)

※この後、9月3日(火)の議会全員協議会で事故検証へ向けた経過を説明のうえ、9月17日(火)の議会全員協議会にて事故検証委員会の設置とそれにかかる予算案を説明し、翌18日(水)の議会定例会に追加議案として予算案を上程して可決を得る

8月12日(月)

午前0時～2時

現地でのビューイング/ヴィジテーション(お別れ顔合わせ)

(現地時間11日・日曜、午前10～12時) 多くの関係者が弔問

閉式後、葬儀社の手により火葬場へ

午前7時

火葬が済んだご遺灰と出国にかかる各種証明書を受領

(現地時間11日・日曜、午後5時)

午後7時03分	被害生徒のご家族と町職員随行が帰国に向けて出発 (現地時間、午前5時03分)
8月13日(火)	
午後8時40分	被害生徒のご家族と町職員随行が帰国、熊本空港到着
8月15日(木)	
午前8時	ヘイスティングズ市長と町三役とでオンライン会談
午後7時	お別れの時間(日本での通夜式)、開式
8月16日(金)	
午前10時	葬儀(家族葬)、開式
午前10時30分	お別れの時間(日本での告別式)、開式
8月22日(木)	
午後4時	町として正式にご自宅を弔問
8月25日(日)	
午後7時	保護者と参加生徒への説明会、参加者同士による懇談 今後の方針を含めた報告とお詫び
9月22日(日)	
午前10時30分	家族での四十九日法要の前に、改めて町三役等で弔問

現在も教育委員会と連携して帰国後の参加生徒の心のケアにあたっているほか、関係職員等の心的サポートも並行して実施。また、被害生徒のご家族にも連絡をとりながら、諸手続きをはじめとする支援を継続。

2024/7/31 アクアコート ウォーターパーク 施設内カメラ 映像記録から病院までの経過

タイムレコード	映像内容
13:15:23	グループが駐車場に到着 、受付手続き後、更衣室へ
13:32:56	着替えを終え、男子に続き女子が Wave Pool 前を通過
13:37:40	※フリー位置のライフセーバー1名の姿確認
13:47:00	女子が Diving Area へ向け移動 ※ライフガード2名(定位置)の姿確認
13:47:16	女子が Diving Area に接近
13:47:22	先頭女子1人がエリア境界のロープをくぐる
13:47:26	先頭女子1人がロープを越えて、後ろに向き直ってすぐに深みに足をとられる
13:47:56	沈潜
13:52:16	ゴーグルをつけた現地女子、水中に顔をつけて潜った際に異変に気付いた模様
13:52:35	ゴーグルをつけた現地女子、ライフガードに報告 → 立ち上がり水中を注視
13:53:00	ライフガードが救助で飛び込み → 13:53:21ライフガードが水底から被害生徒を救出して水面に浮上
13:54:13	ライフガードたちが共同で被害生徒をプールサイドに引き上げて横に → 13:54:17 救命活動開始
14:00:50	警官が救助現場到着
14:02:55	救急隊員が救助現場到着 、救命活動を続けた末の 14:15:00 ストレッチャーに被害生徒を乗せる
14:15:45	救急車に移動し、病院へ搬送開始
	※以下は映像外での記録
14:30頃	ヘイスティングズ市内の病院(メアリーランニング病院)に救急車到着、病院での処置開始(人工呼吸器装着)
	肺の排水処置や検査等の必要性からオマハ市への移送が決定するも、ドクターヘリの急行が困難で設備を有する救急車で迎車に
18:20頃	オマハ市からの救急車がヘイスティングズ市内のメアリーランニング病院に到着、移送開始
21:27頃	オマハ市内の小児病院(チルドレンズ・ネブラスカ)に到着、集中治療室での処置開始

事故発生現場状況

